

平成28年1月6日
原子力規制委員会

北朝鮮による核実験実施発表に対する放射能 影響の観測結果等について

(第2報)

標記の件について、別添のとおりお知らせします。

<お問い合わせ先>

原子力規制庁 長官官房放射線防護グループ 監視情報課

課長 南山 力生

放射線環境対策室長 山本

放射線環境対策官 千葉

電話：03-3581-3352（代表）

03-5114-2126（直通）

〈〈資料を参照する際の注意〉〉

※一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されません。
※本試算は、航空における放射線モニタリング実施の際の飛行経路設定の参考情報として一定の計算条件を仮定し拡散予測を行ったものであり、実際にこのような放射性物質が観測されているわけではありません。

北朝鮮による核実験実施に係る放射線モニタングの実施の際に参考となるデータについて

平成28年1月6日

原子力規制庁長官官房放射線防護グループ

監視情報課放射線環境対策室

1月6日の北朝鮮の核実験実施に係る、航空自衛隊機による高空の大気浮遊じん等の採取の際の参考として、WSPEED Iによる拡散予測結果を防衛省に提供しましたのでお知らせいたします。

北朝鮮の核実験実施を想定した WSPEEDI-II による放射能拡散予測結果 (2)

標記について、仮定計算条件に基づく予測結果は以下のとおりです。

1. 仮定計算条件

放射性物質の種類及び放出率： I-131(1Bq/h)
Xe-133(1Bq/h)
Cs-137(1Bq/h)

放出場所：東経 129.2 度、北緯 41.6 度

放出期間：平成 28 年 1 月 6 日 10:00 から 24 時間放出と仮定

2. 結果出力 (計 48 図形)

① I-131 の大気中濃度の水平分布図

時刻：2016/1/7 9、12、15、18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m、上空 3,000m

② Xe-133 の大気中濃度の水平分布図

時刻：2016/1/7 9、12、15、18 時

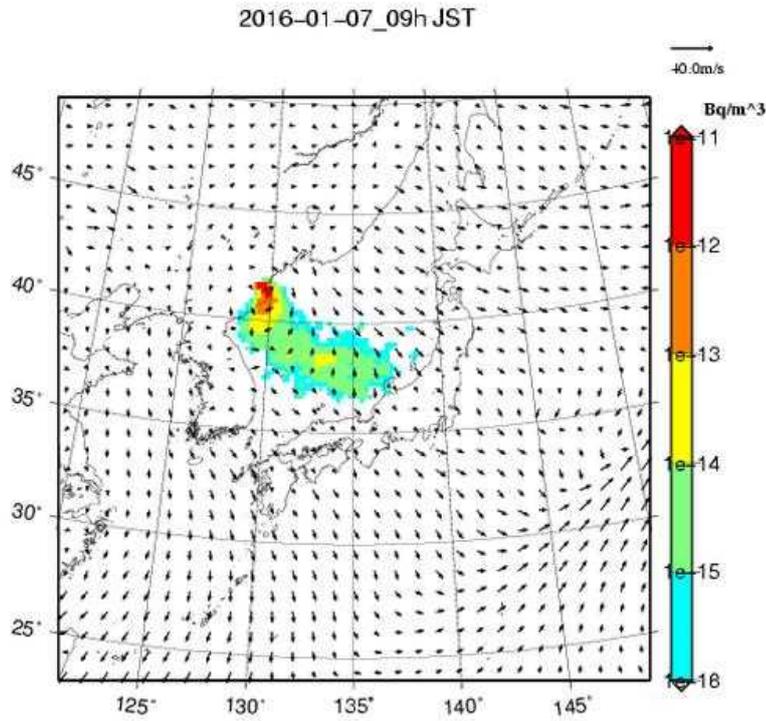
高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m、上空 3,000m

③ Cs-137 の大気中濃度の水平分布図

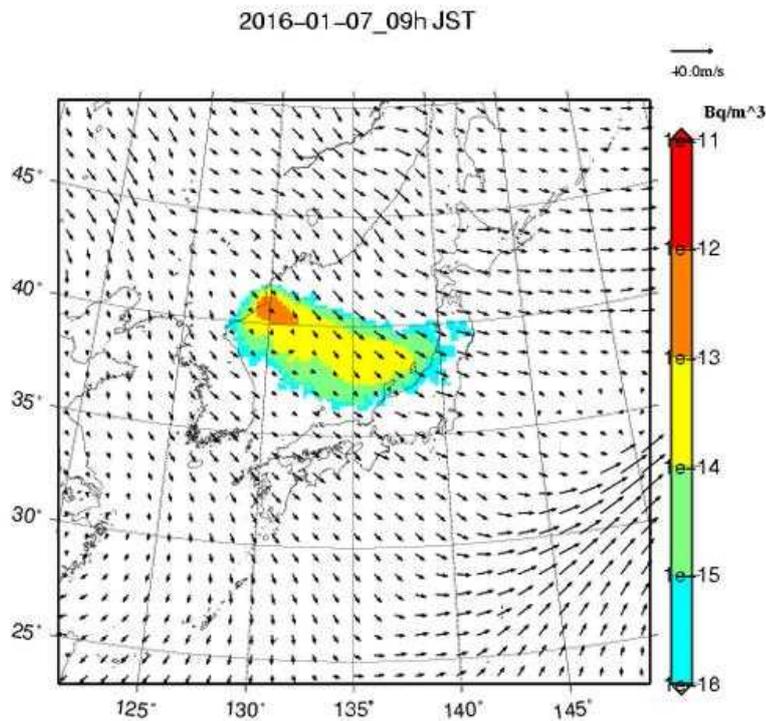
時刻：2016/1/7 9、12、15、18 時

高度：地上、上空 1,000m、上空 2,000m、上空 3,000m

2016/1/7_9:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

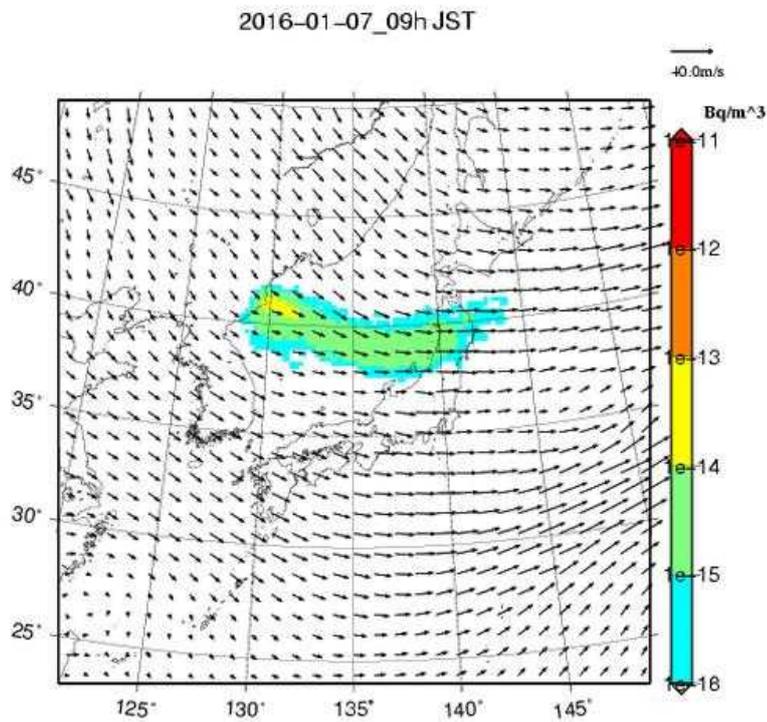


2016/1/7_9:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

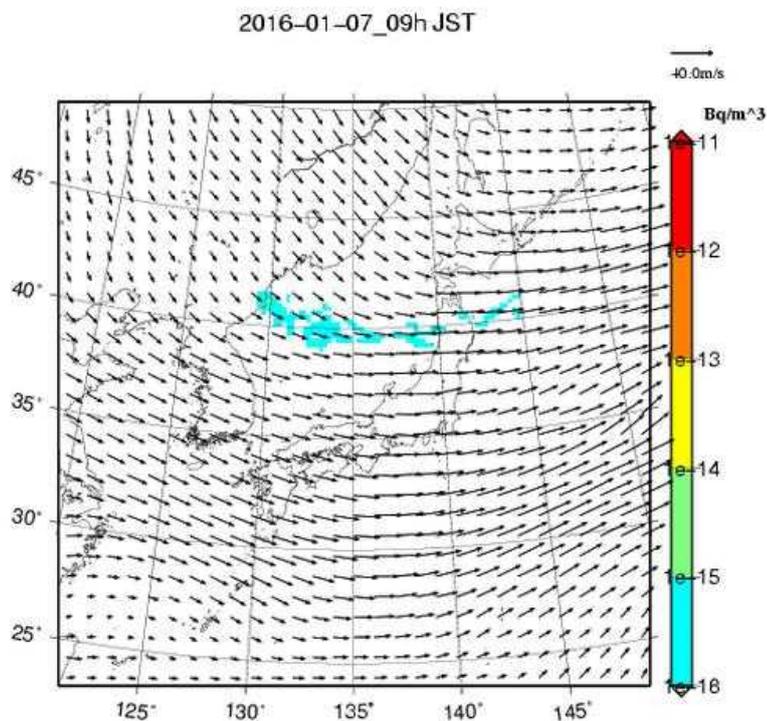


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

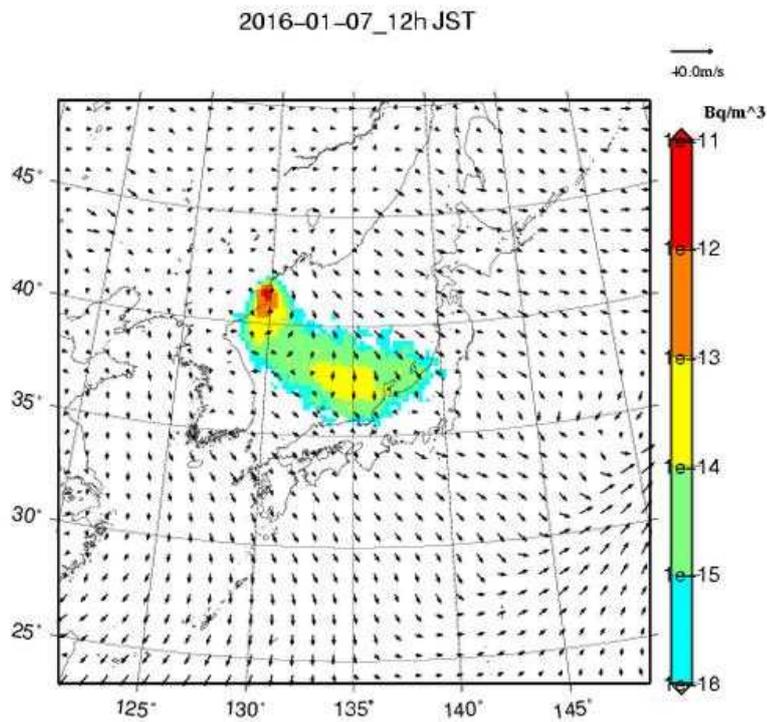


2016/1/7_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

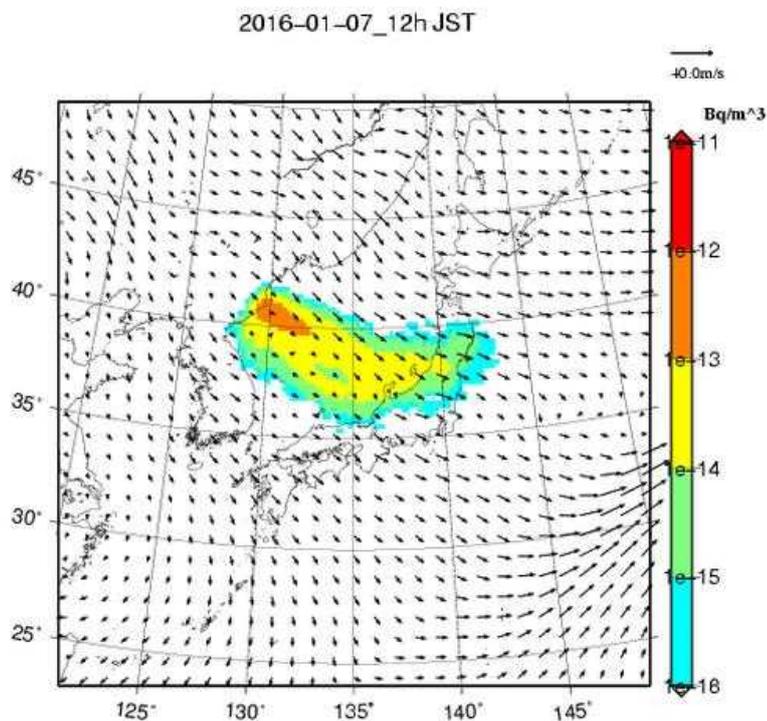


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

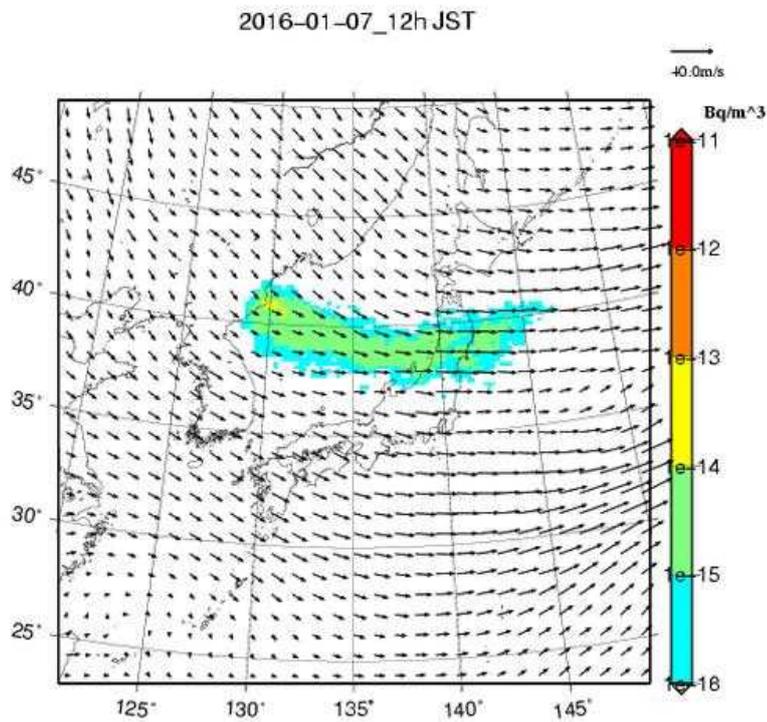


2016/1/7_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

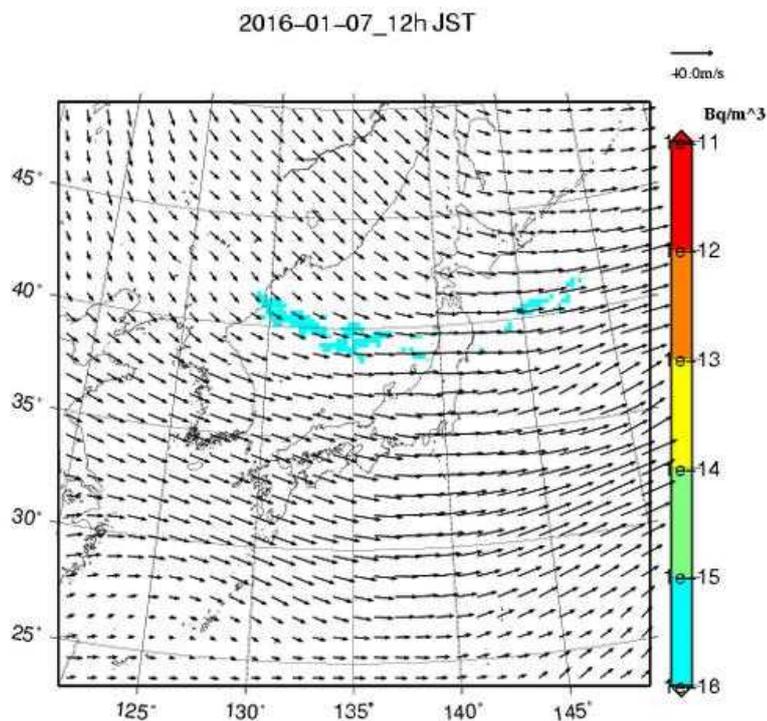


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

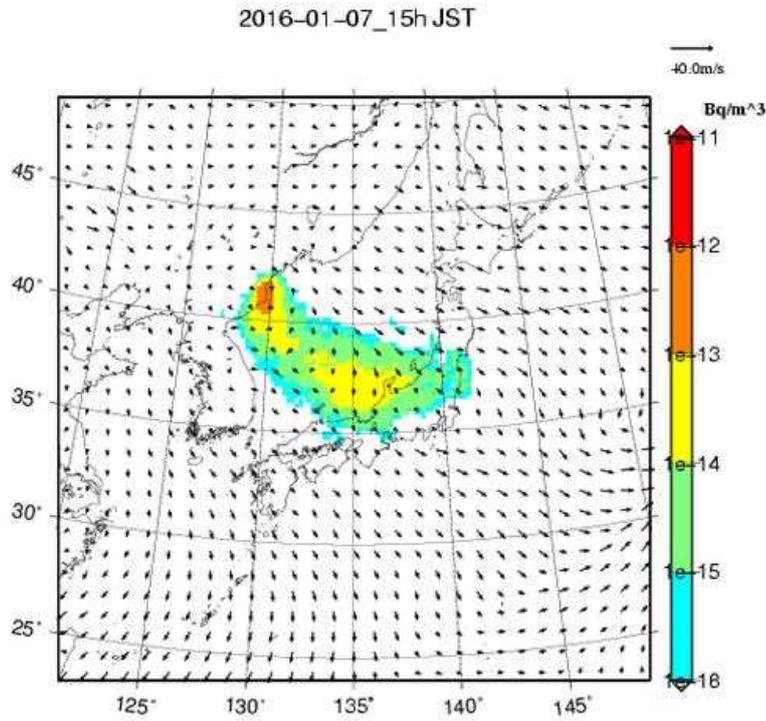


2016/1/7_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

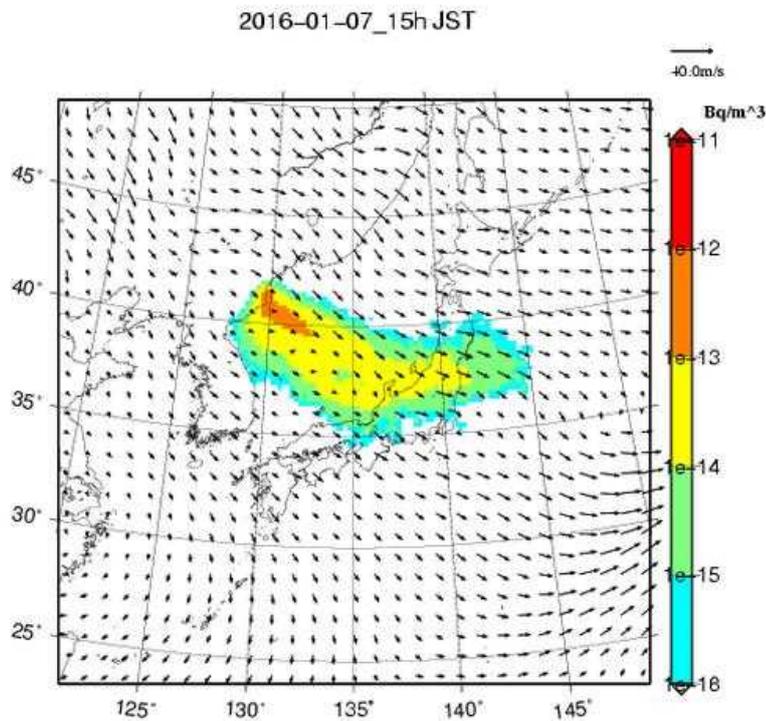


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

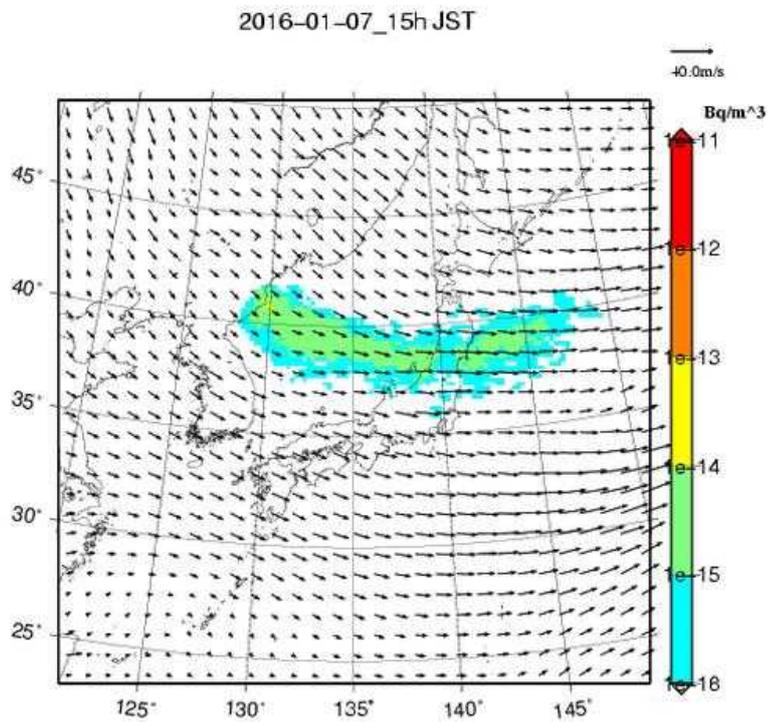


2016/1/7_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

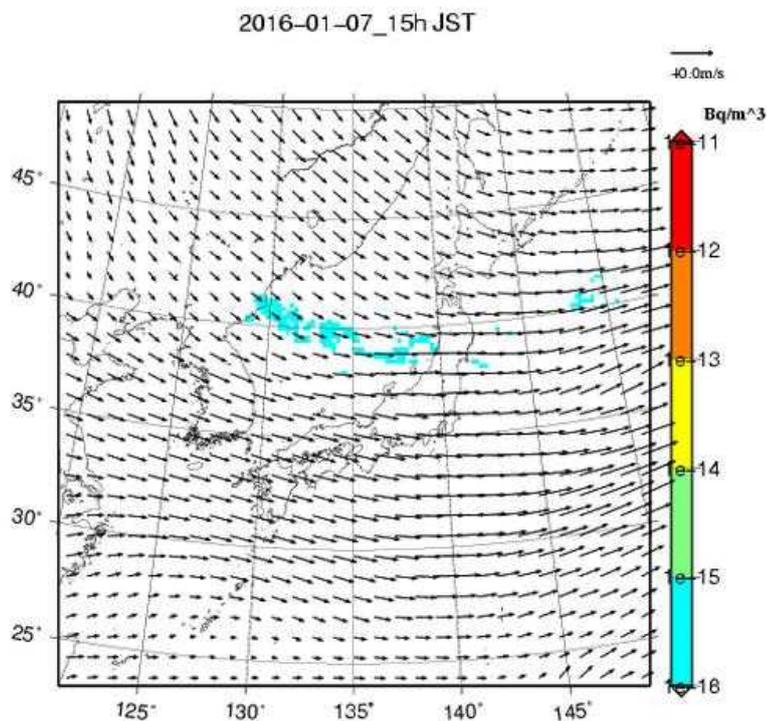


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

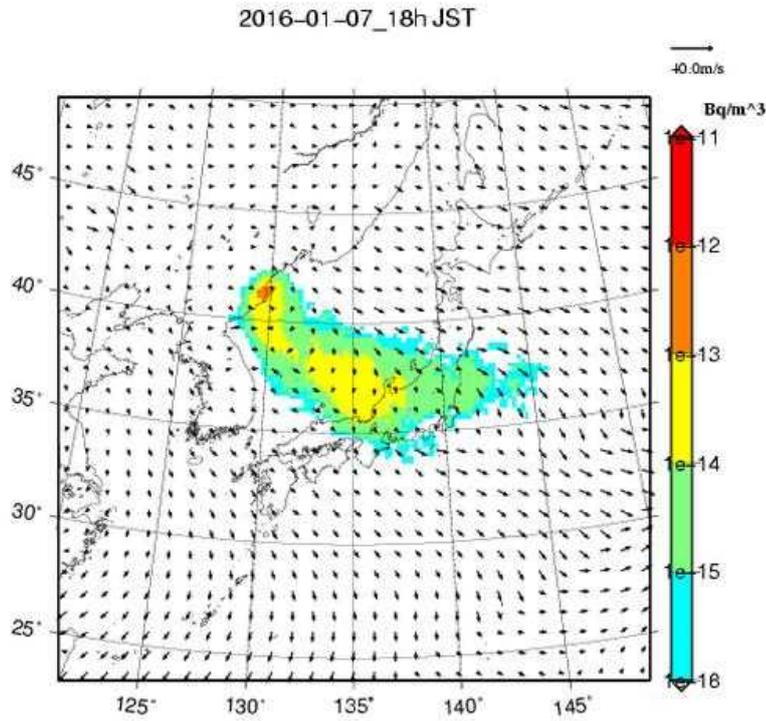


2016/1/7_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

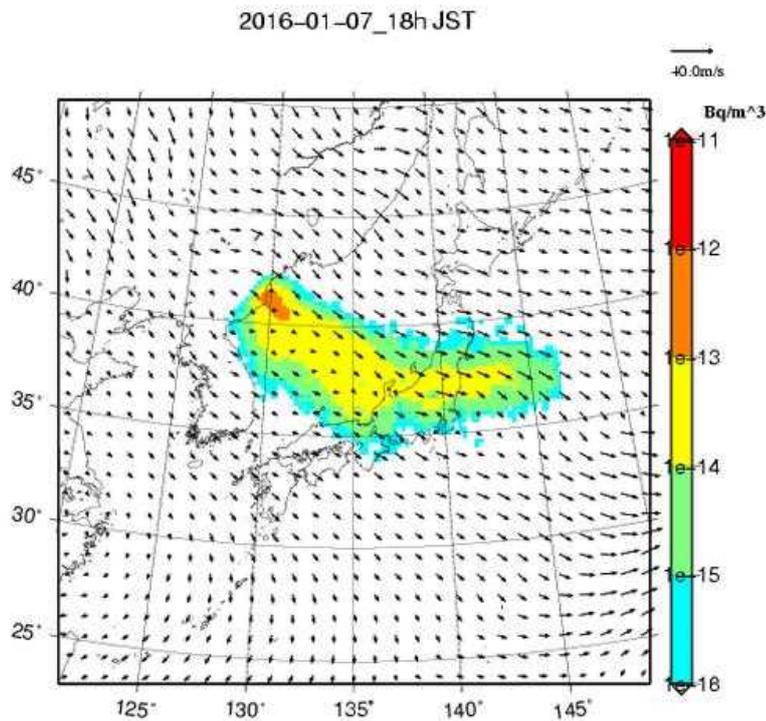


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 地表面 空气中濃度 (ヨウ素 131)

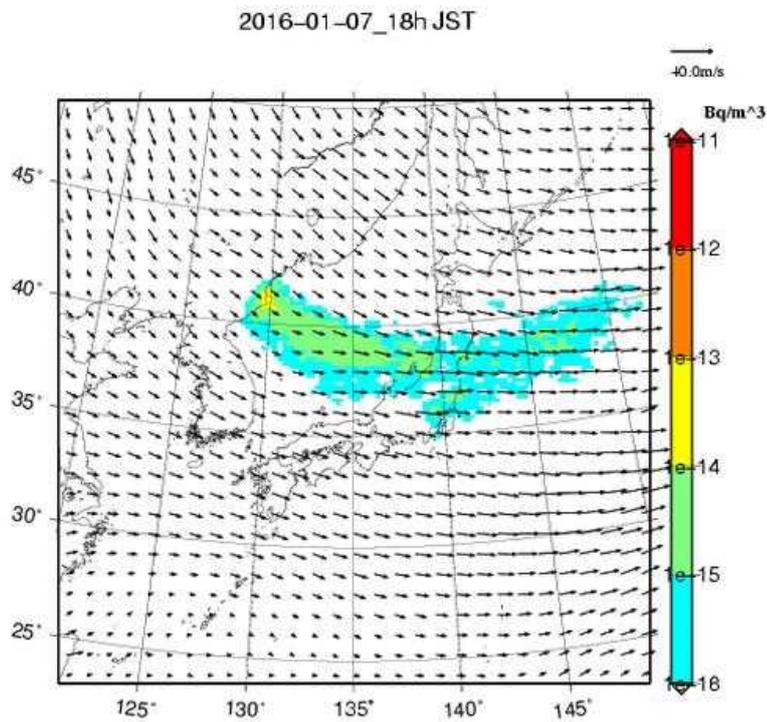


2016/1/7_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

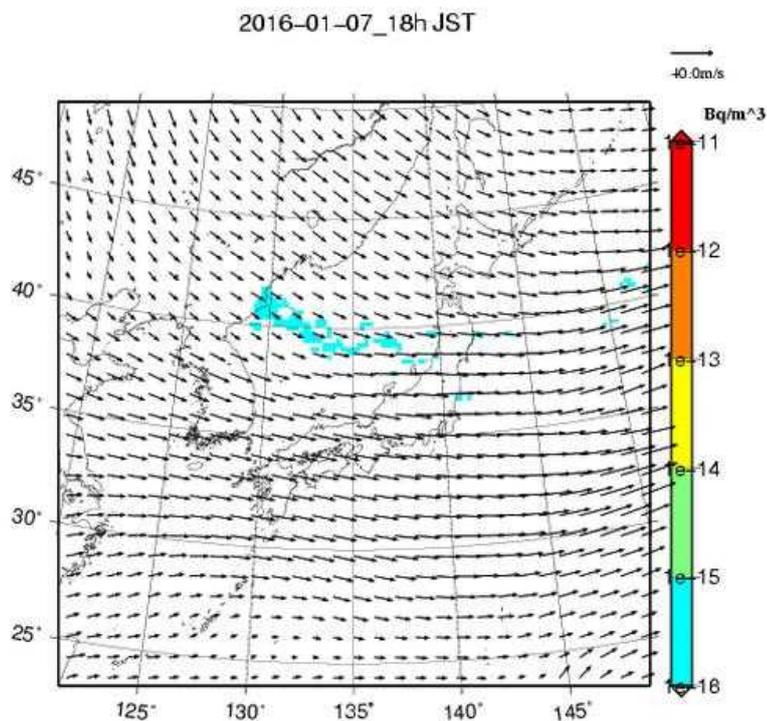


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

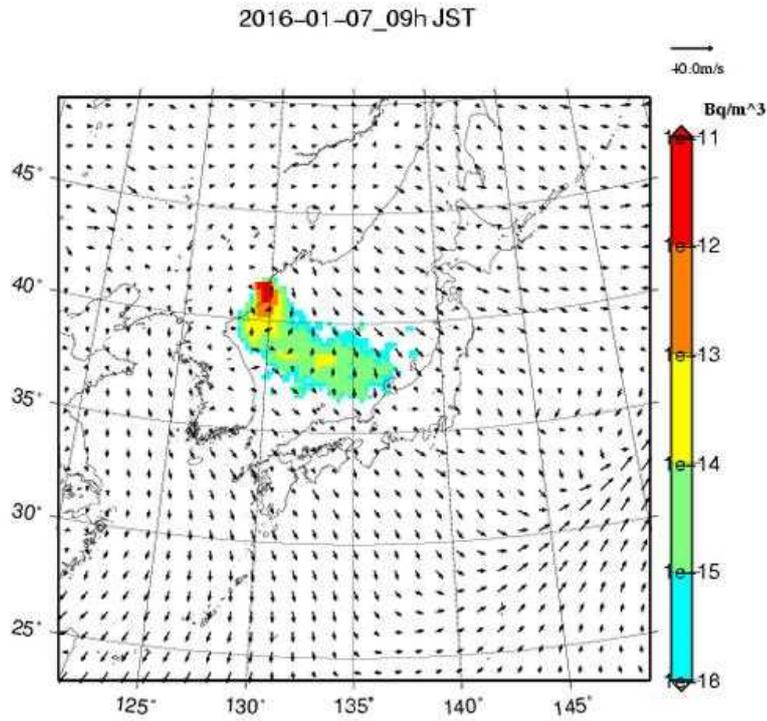


2016/1/7_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (ヨウ素 131)

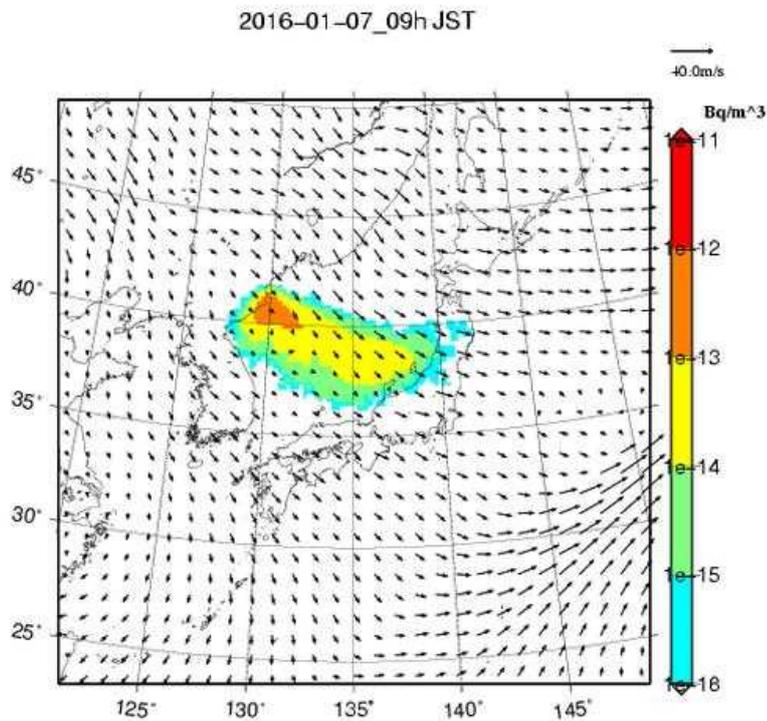


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_9:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

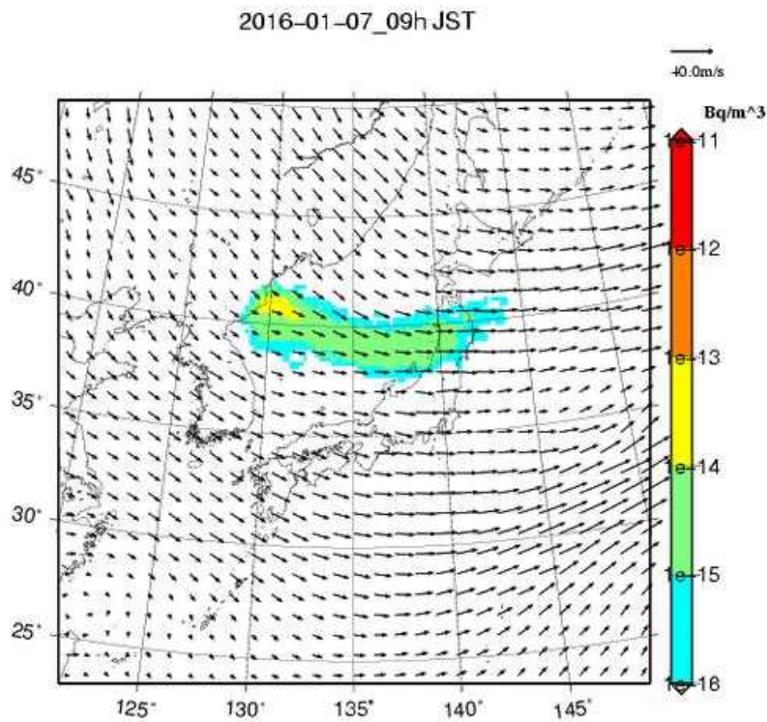


2016/1/7_9:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

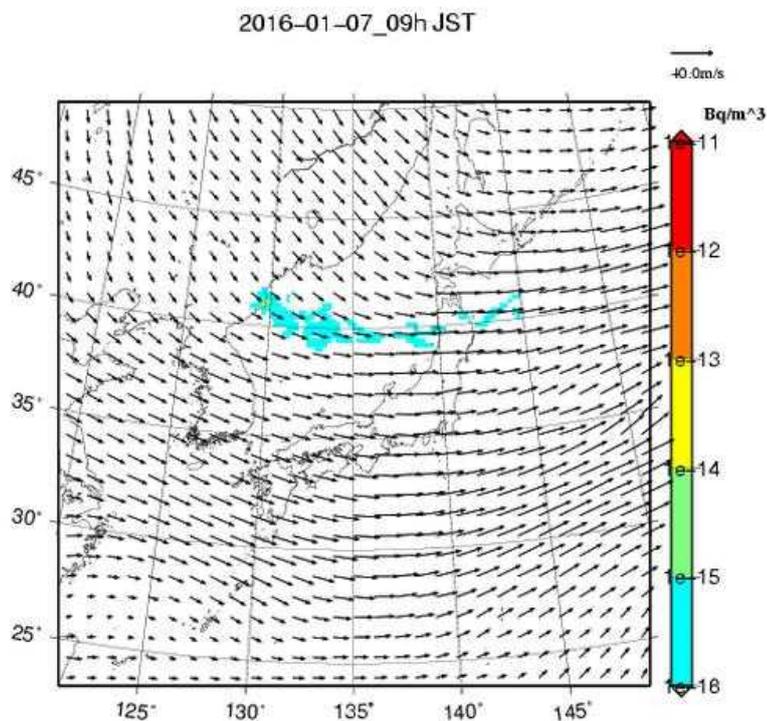


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

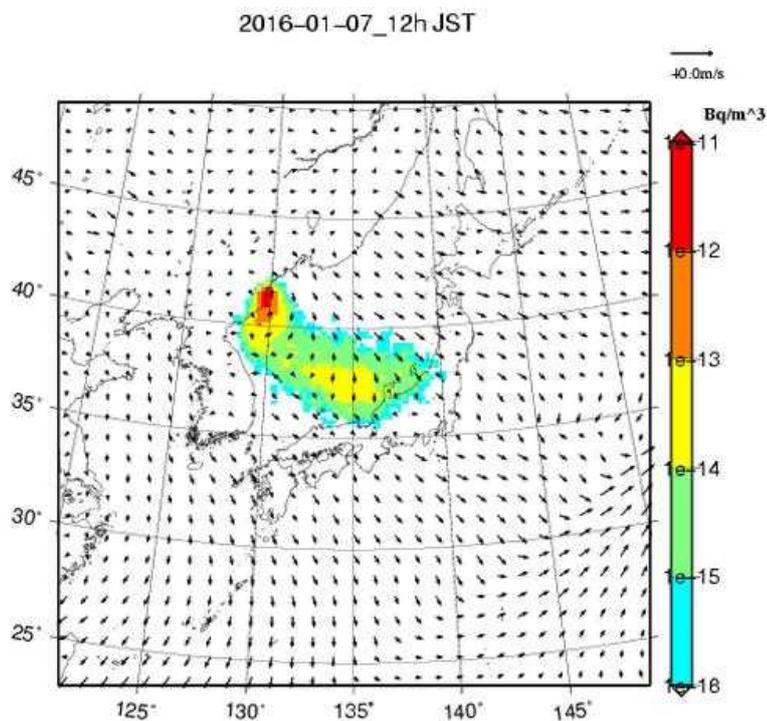


2016/1/7_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

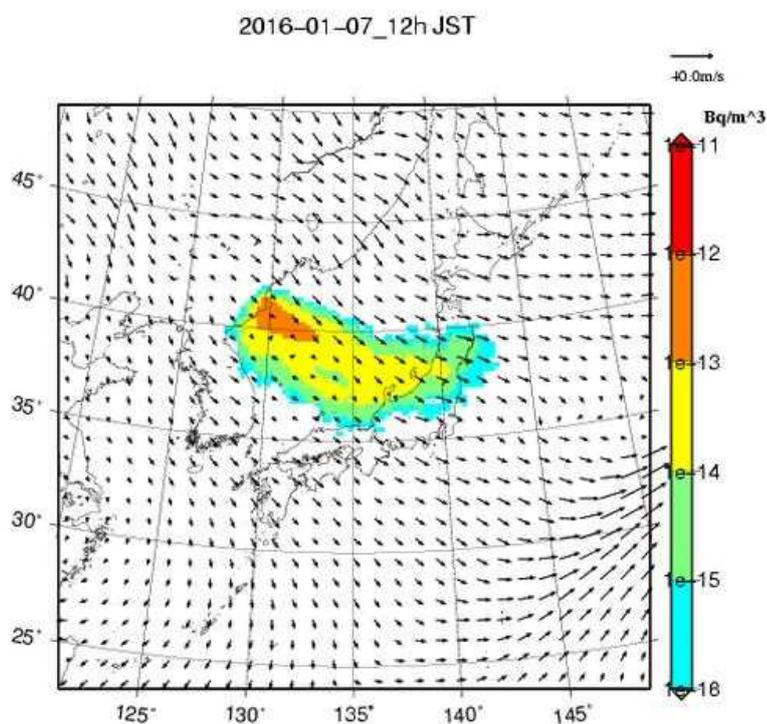


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

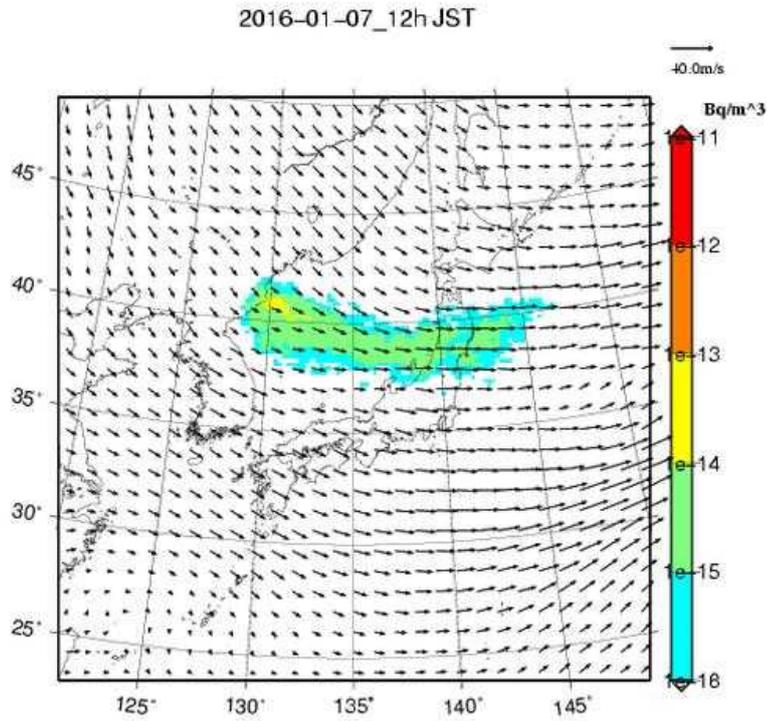


2016/1/7_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

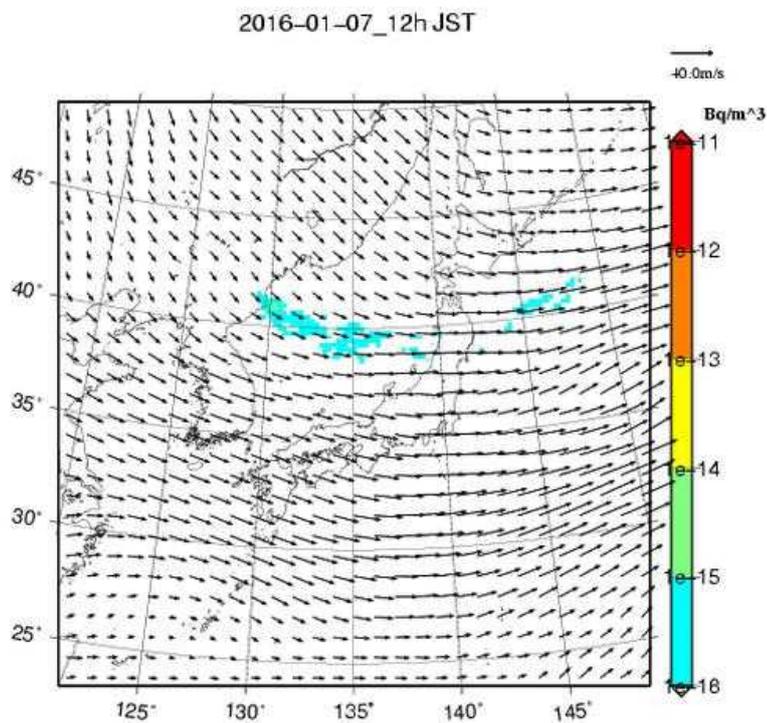


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

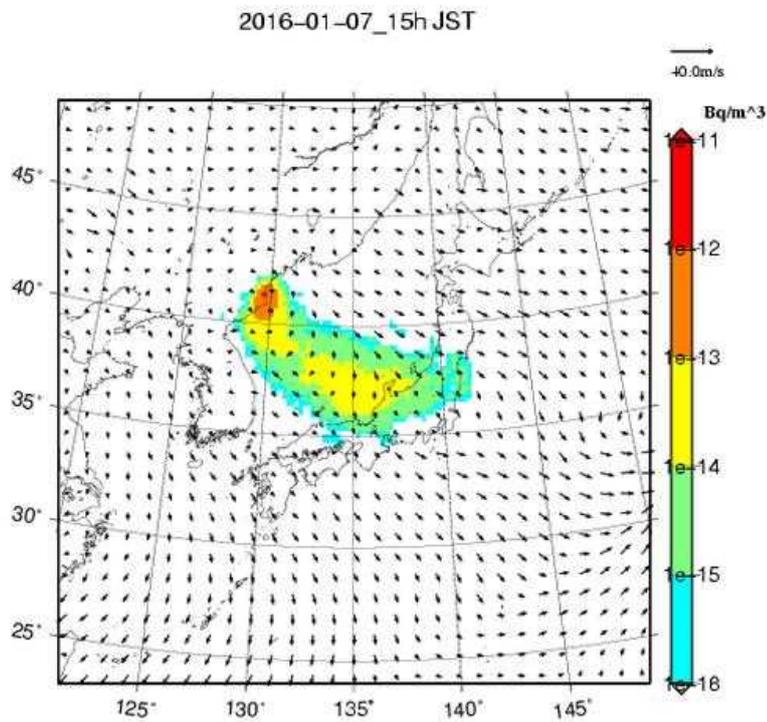


2016/1/7_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

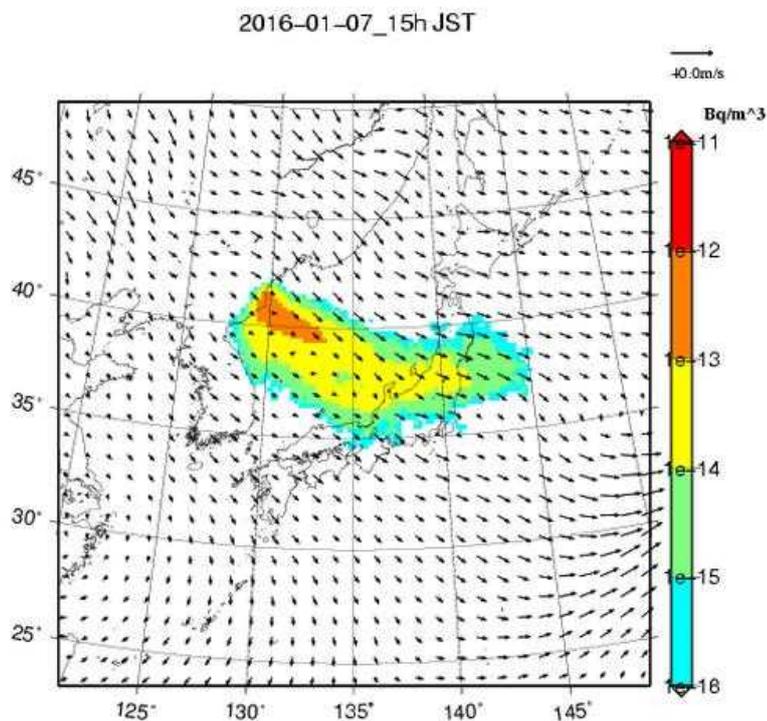


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

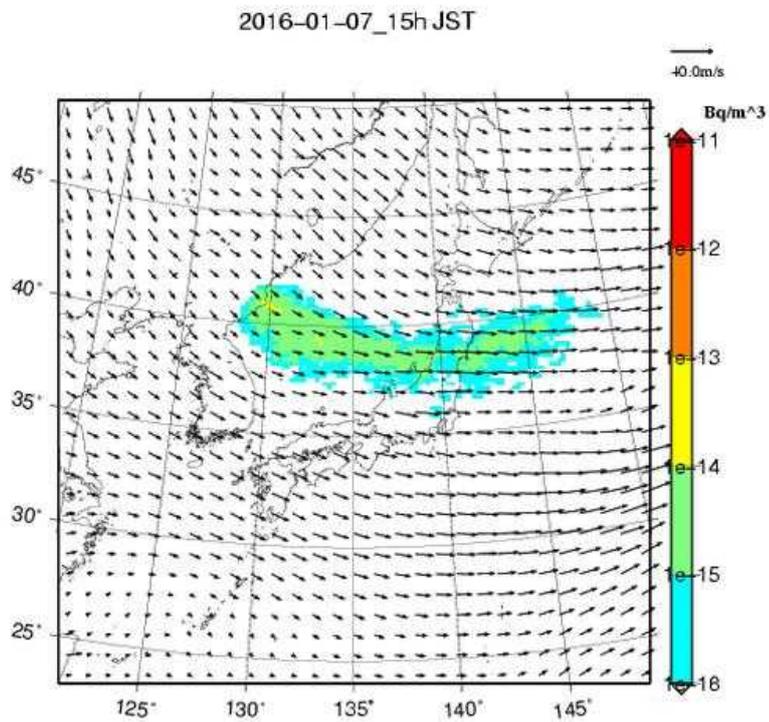


2016/1/7_15:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

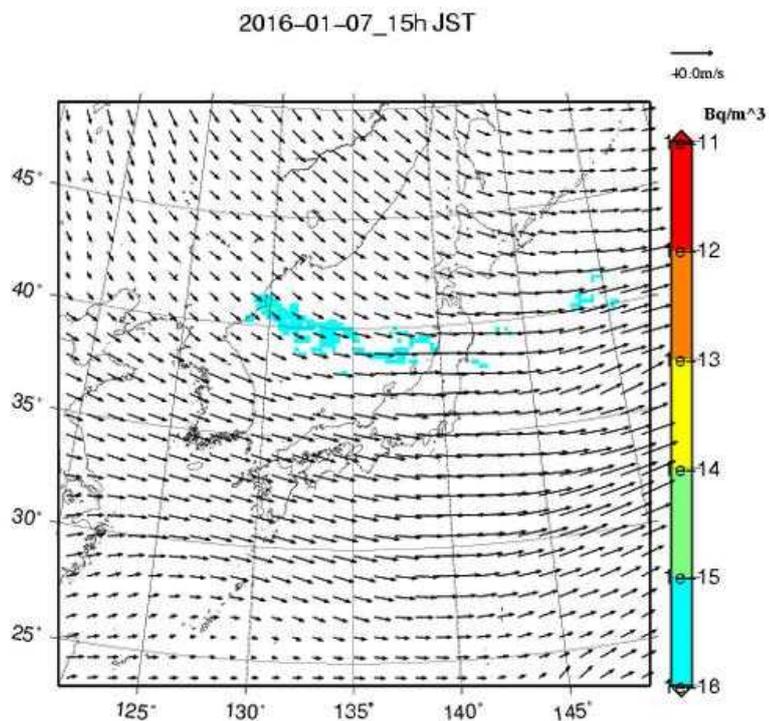


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

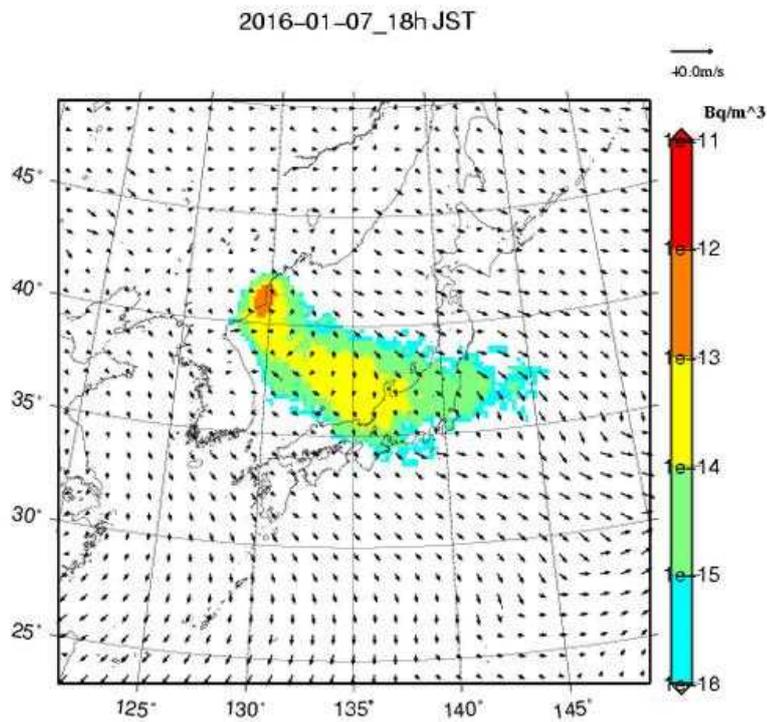


2016/1/7_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

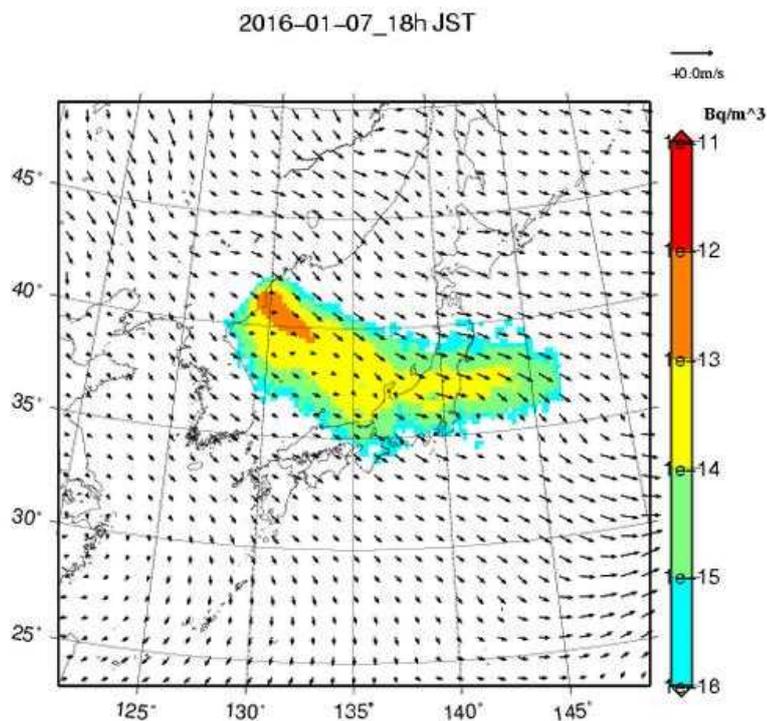


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 地表面 空气中濃度 (キセノン 133)

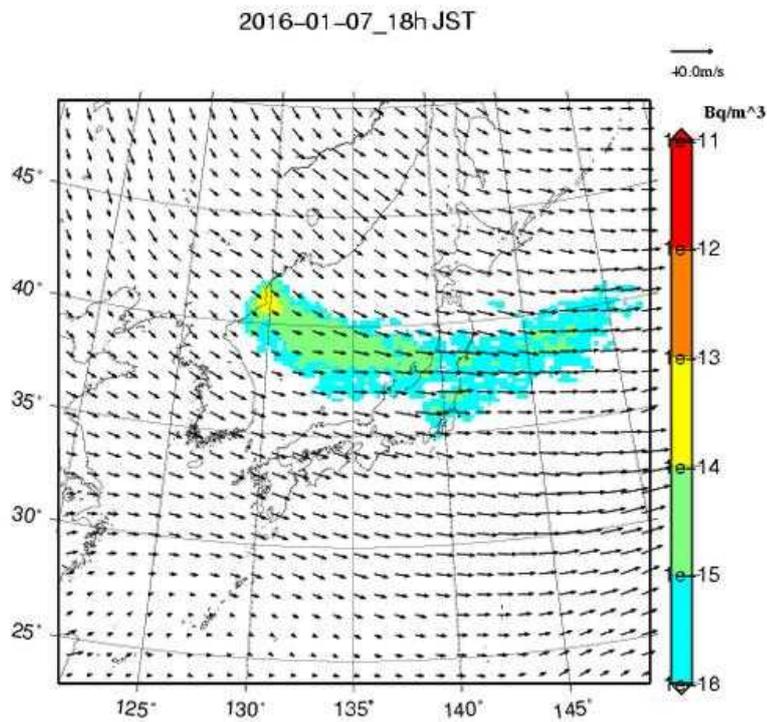


2016/1/7_18:00 上空 1,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

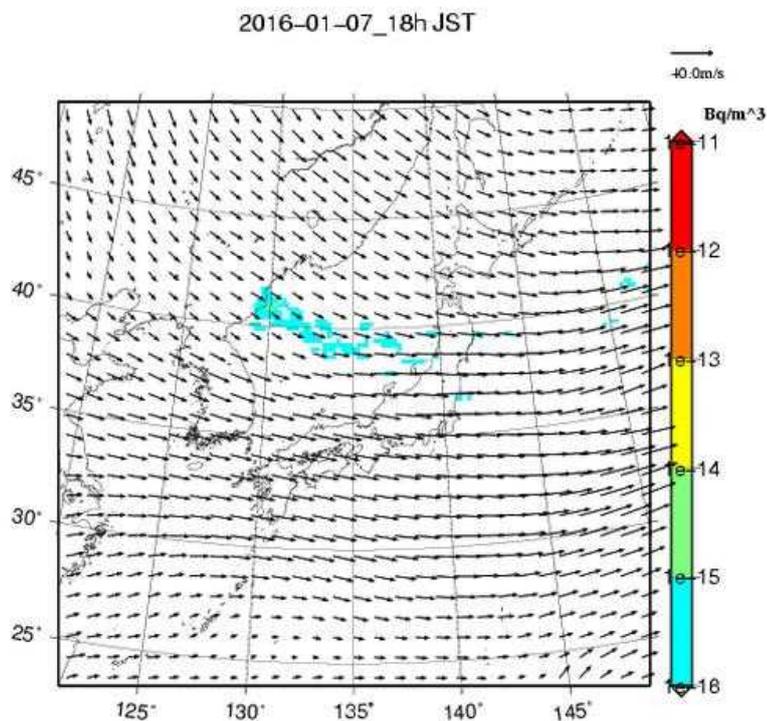


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

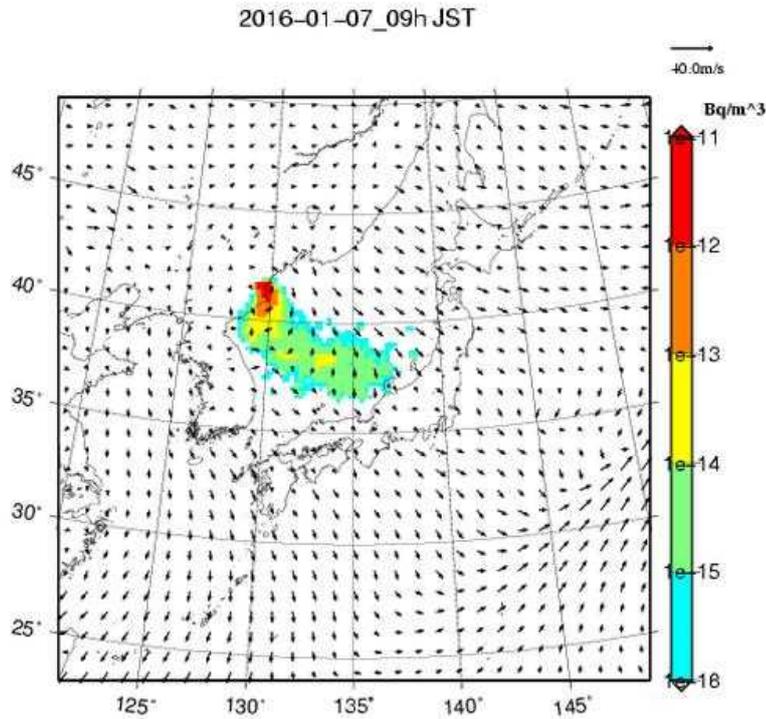


2016/1/7_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (キセノン 133)

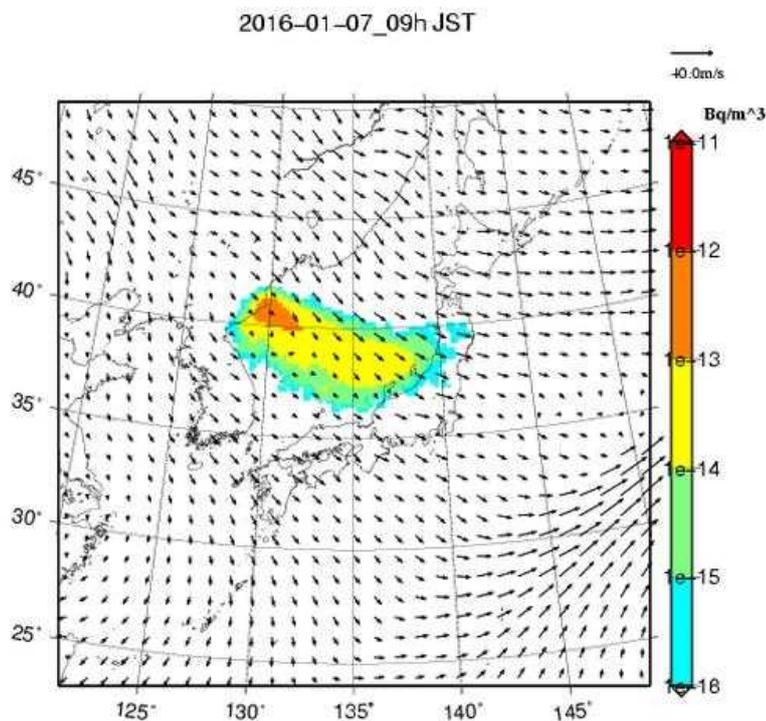


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_9:00 地表面 空气中濃度 (セシウム 137)

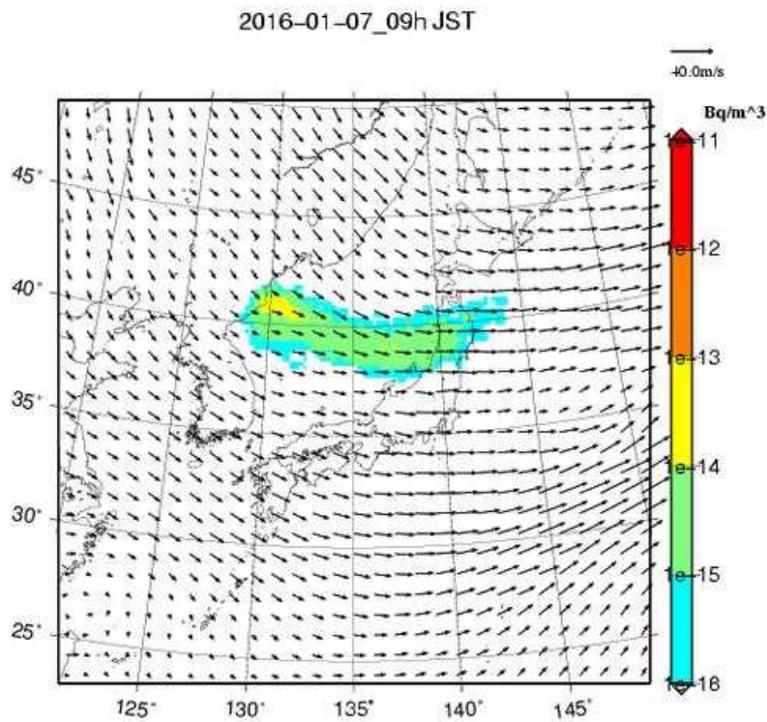


2016/1/7_9:00 上空 1,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

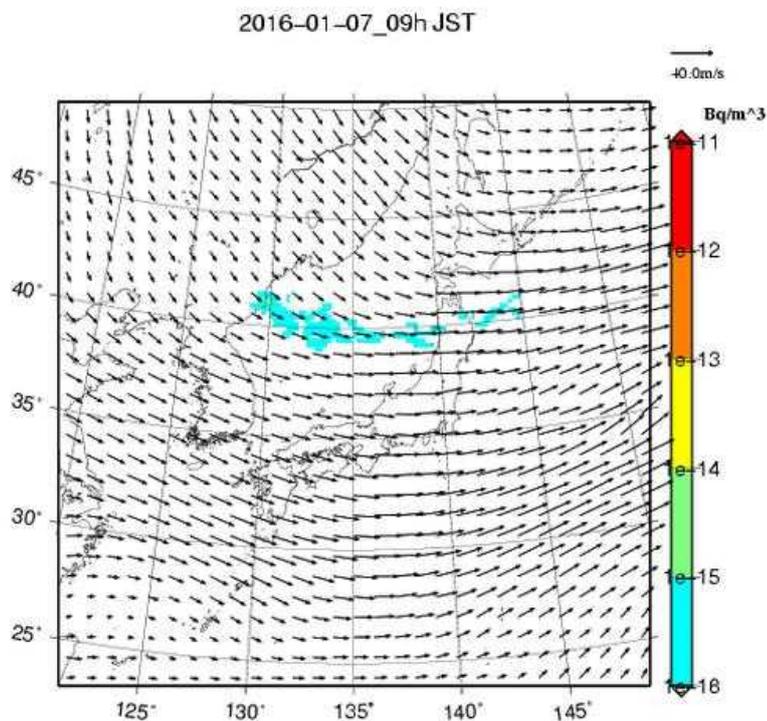


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_9:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

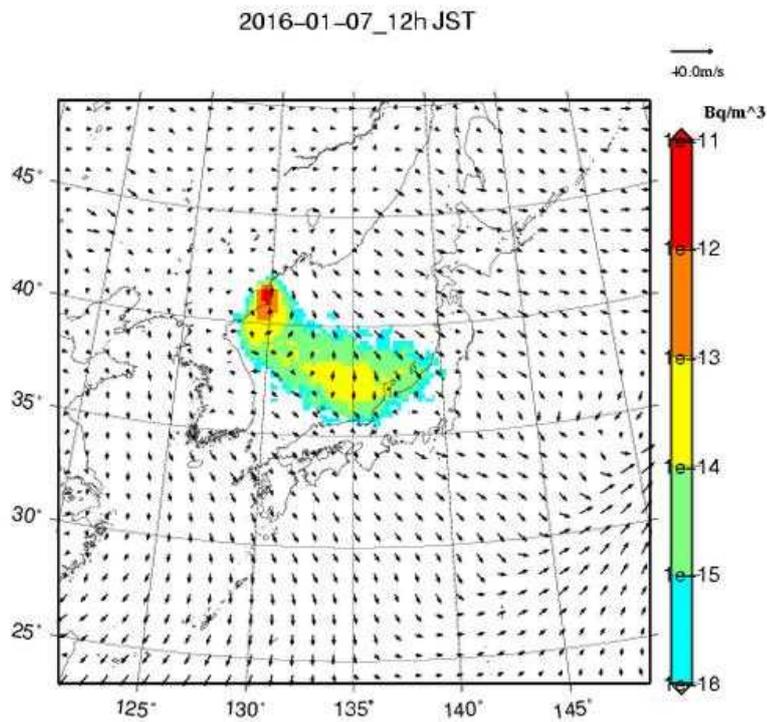


2016/1/7_9:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

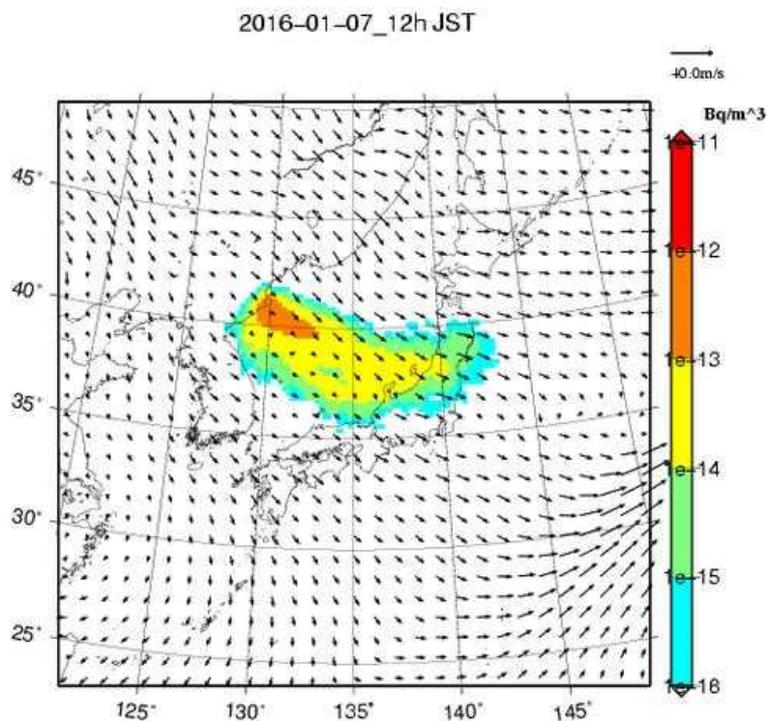


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 地表面 空气中濃度 (セシウム 137)

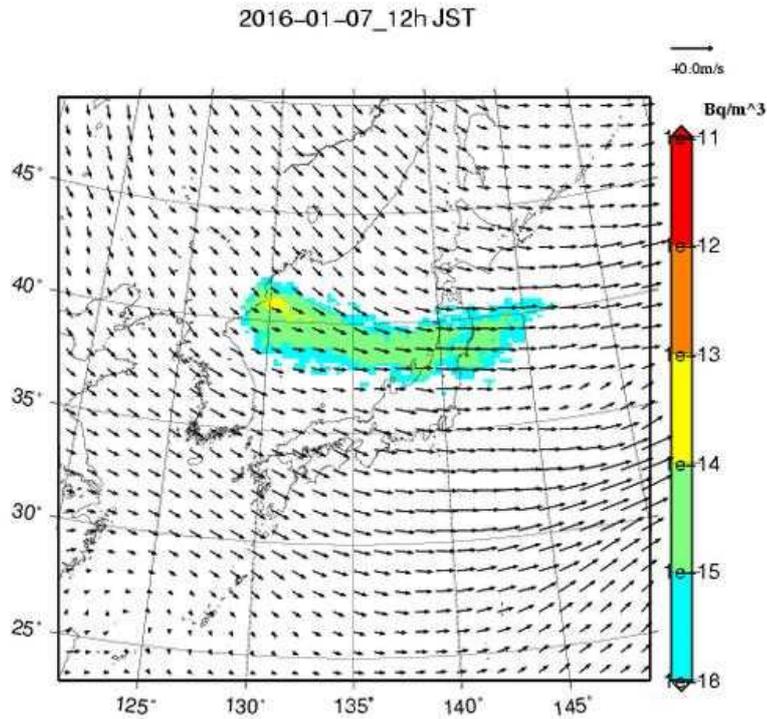


2016/1/7_12:00 上空 1,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

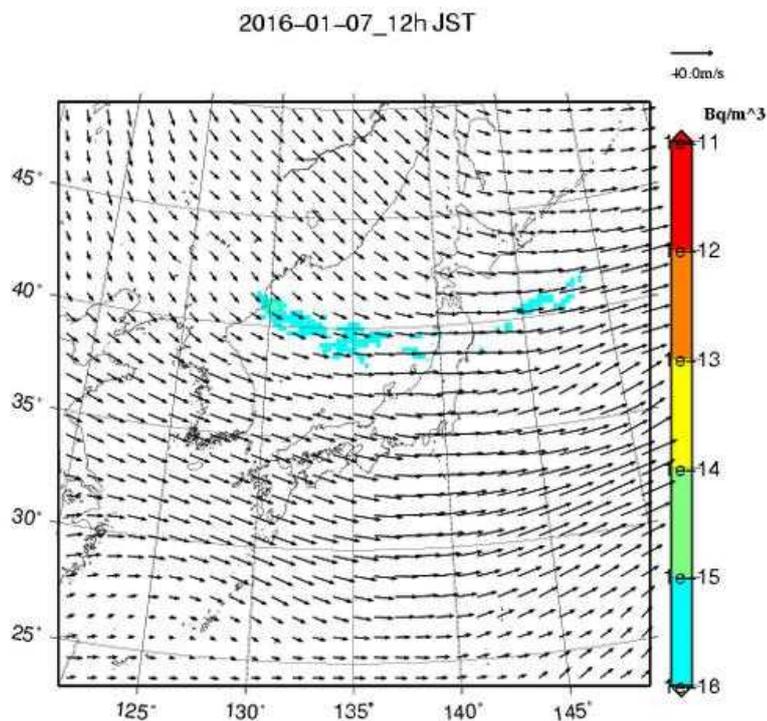


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_12:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

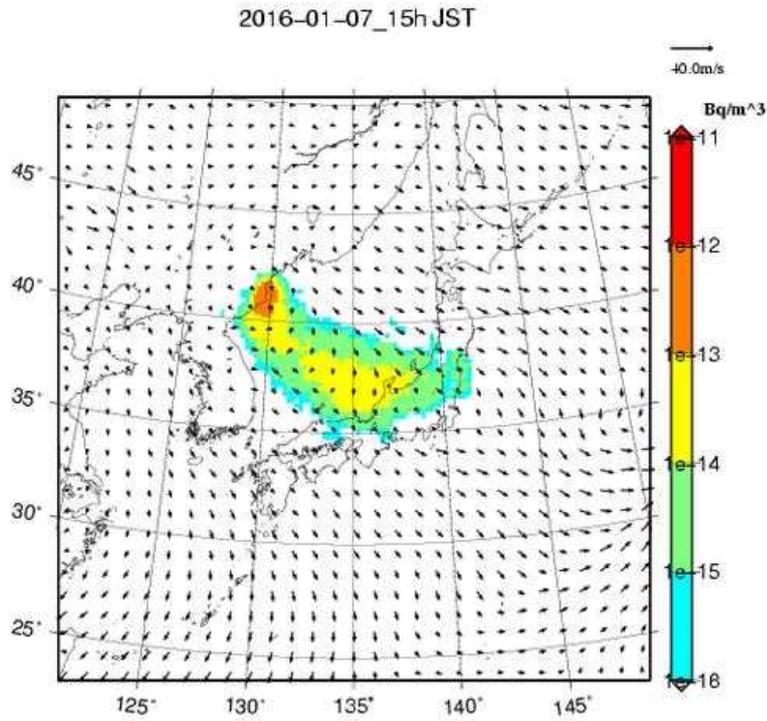


2016/1/7_12:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

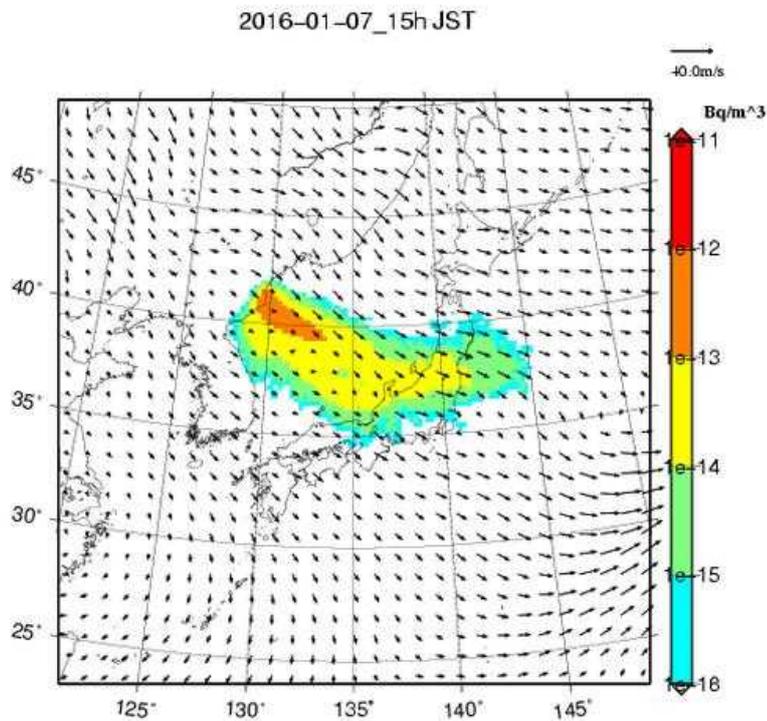


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 地表面 空気中濃度 (セシウム 137)

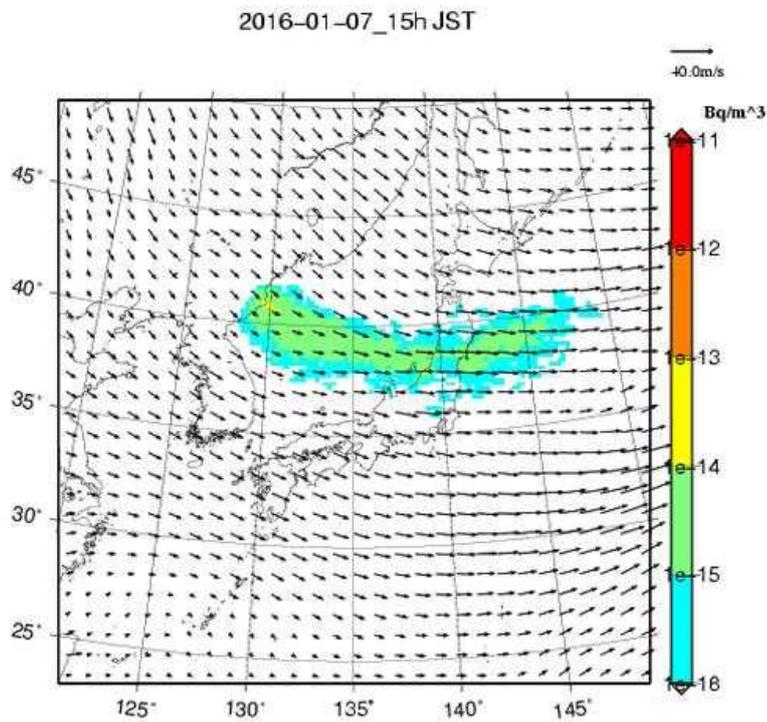


2016/1/7_15:00 上空 1,000m 空気中濃度 (セシウム 137)

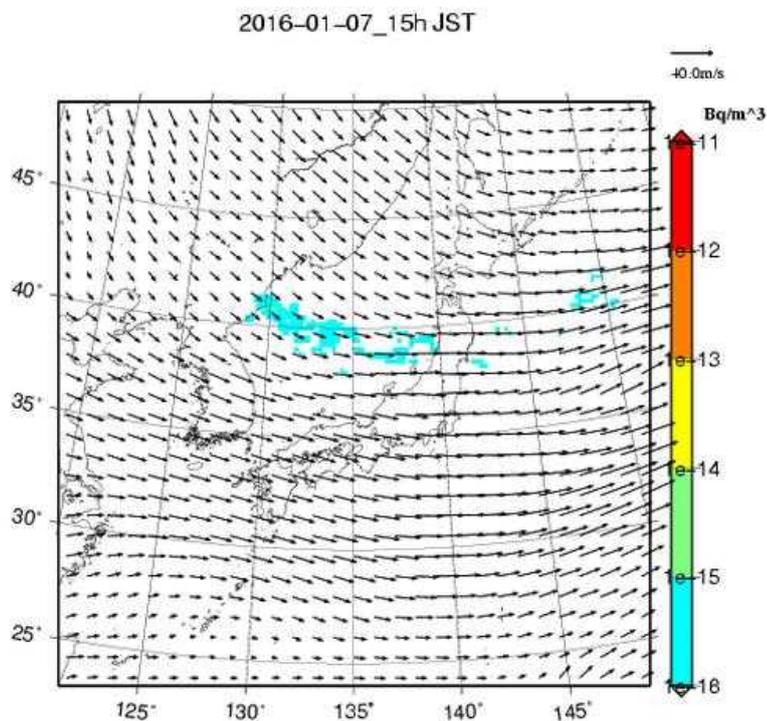


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_15:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

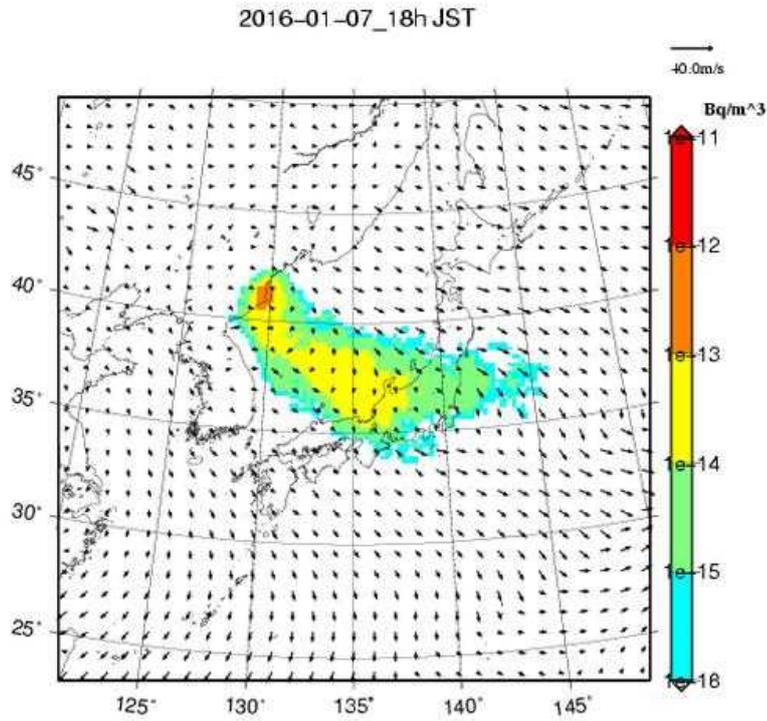


2016/1/7_15:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)

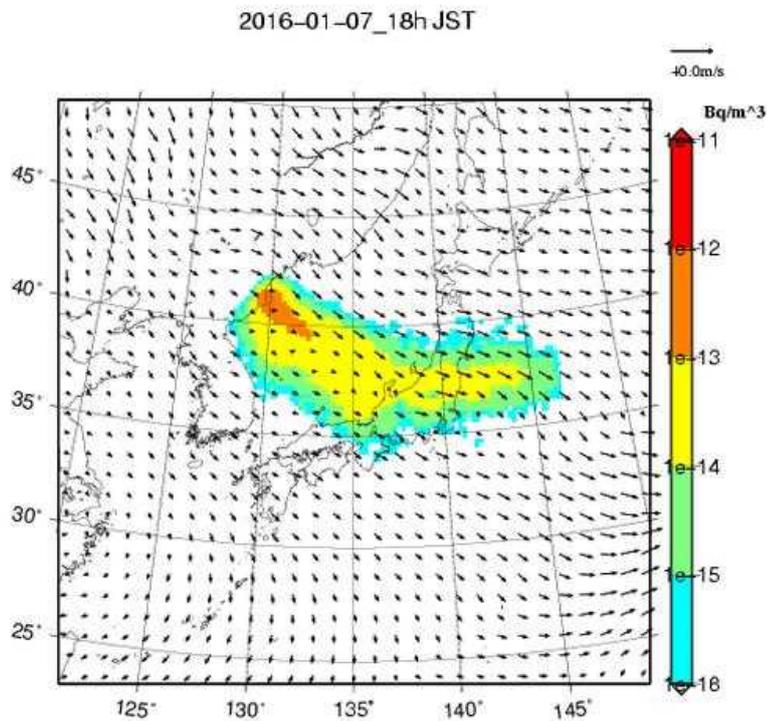


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 地表面 空気中濃度 (セシウム 137)

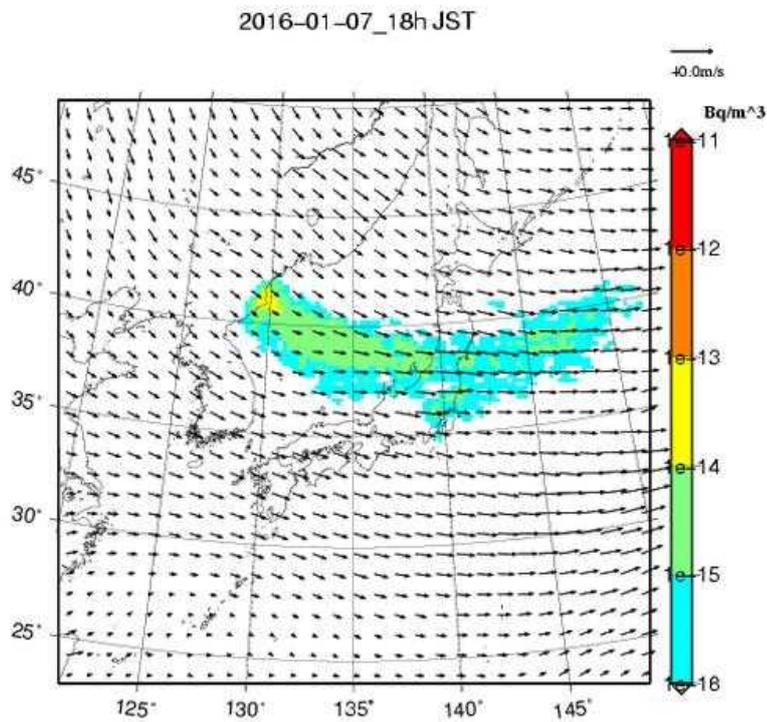


2016/1/7_18:00 上空 1,000m 空気中濃度 (セシウム 137)

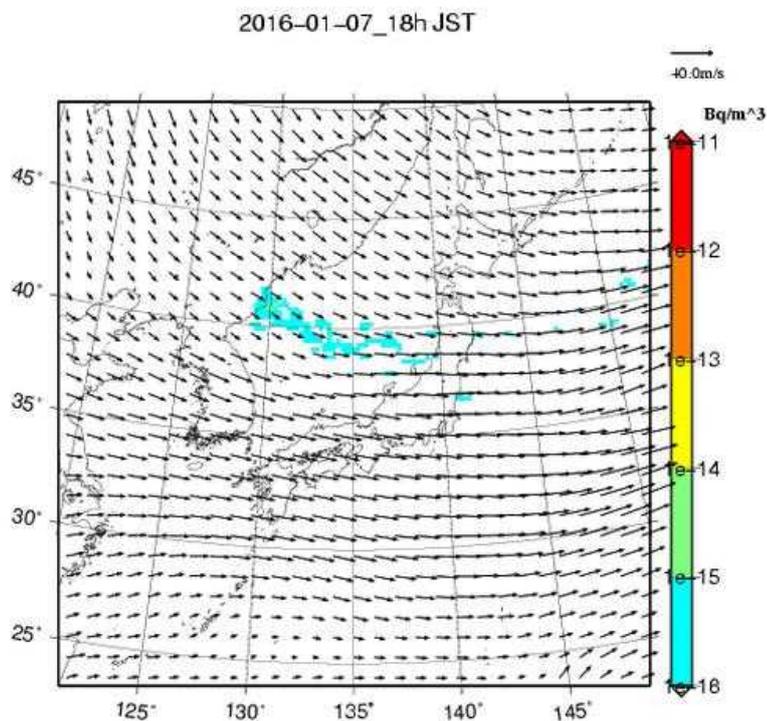


一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。

2016/1/7_18:00 上空 2,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



2016/1/7_18:00 上空 3,000m 空气中濃度 (セシウム 137)



一般的に、地下核実験の場合は大気中に放射性物質が放出されることは想定されず、仮に放出があったとしても放出源情報が不明であるが、計算条件を仮定し拡散計算を実施。